

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2006-337984(P2006-337984A)

【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-049

【出願番号】特願2006-94437(P2006-94437)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月8日(2009.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

像担持体と、

バイアスが印加されて前記像担持体を注入帶電する複数の帶電器と、

前記複数の帶電器より像担持体移動方向下流側に設けられ、前記複数の帶電器により帶電された前記像担持体に潜像形成をする潜像形成装置と、

前記複数の帶電器通過後の像担持体の表面電位を検出する電位検出手段とを有する画像形成装置において、

前記複数の帶電器は、第一の帶電器と、前記複数の帶電器の中で前記像担持体移動方向最下流に設けられた第二の帶電器とを備え、

前記電位検出手段の検出結果に応じて前記帶電器による帯電後の前記像担持体の表面電位を調整する場合に、前記第二の帶電器に印加されるバイアスは変化させずに、前記第一の帶電器に印加されるバイアスを変化させる第一の制御モードを有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第一の制御モードは、連続画像形成時における、画像形成と画像形成の間に行われることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第一の制御モードでは、前記第一の帶電器に印加されるバイアスの直流電圧の値を変化させることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記第一の制御モードでは、前記第一の帶電器に印加されるバイアスの交流電圧のDuty比を変化させることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記第一の制御モードでは、前記第一の帶電器に印加されるバイアスの交流電圧の振幅値を変化させることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記第一及び第二の帶電器は、磁性粒子を磁性粒子担持体に磁気的に担持させ、前記磁

性粒子を前記像担持体に接触させて、前記像担持体を帯電することを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記像担持体は、アモルファスシリコン系感光体であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項8】

前記電位検出手段の検出結果に応じて前記帯電器による帯電後の前記像担持体の表面電位を調整する場合に、前記第二の帯電器に印加されるバイアスを変化させる第二の制御モードを有することを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

像担持体と、

バイアスが印加されて前記像担持体を注入帶電する複数の帯電器と、

前記複数の帯電器より像担持体移動方向下流側に設けられ、前記複数の帯電器により帶電された前記像担持体に潜像形成をする潜像形成装置と、

前記複数の帯電器通過後の像担持体の表面電位を検出する電位検出手段とを有する画像形成装置において、

前記複数の帯電器は、第一の帯電器と、前記複数の帯電器の中で前記像担持体移動方向最下流に設けられた第二の帯電器とを備え、

前記電位検出手段の検出結果に応じて前記帯電器による帯電後の前記像担持体の表面電位を調整する場合に、前記第二の帯電器に印加されるバイアスは変化させずに、前記第一の帯電器に印加されるバイアスを変化させる第一の制御モードを有することを特徴とする。